編集後記

◆今年はサツキの花芽の数が少ないようです．昨年花が終わったときに，刈込みをしたにもかかわらずです．近所のサツキを見て回りましたが同様なようです．楽しみが減った感じです．皆さんの所はどうですか．我が家の猫の額ほどの芝生に蟻が巣を作って盛んに食料を運んでいます．「蟻が蝶の羽を運んでいる．まるでヨットのようだ」という詩があったと思いますが，自分の体よりも大きな物を運んでいます．芝生が枯れるので，巣に薬を吹き込むのですが，少しも効きません．どうしたものかと考えこんでいます．

◆さて，今月号はパキスタン特集をお送りします．私は長い間調査船乗りをしていましたので，いろいろな国を訪れましたが，パキスタンはありません．パキスタンってインドの東と西にある国だろうといったら，古いと笑われました．今では西がパキスタンで，東はバングラデシュですよね．

◆十数年も前，地質調査所に沿海鉱物資源研修コースというのがありました．パキスタンからの研修生が砂金の探査法を会得したいとのことで，私が担当することになり，久慈川の上流で研究したことが懐かしく思い出されます．

◆この特集で，日本の協力によって設立されたパキスタン地質科学研究所の計画当初から苦労された白波瀬氏がその顛末記を紹介しています．外国で何かを行うということは大変なことだと感じさせられます．同氏が述べているように，今後の国際協力事業の実施に参考になればと思います．また，同氏と久保氏はパキスタンの地質概説を紹介しています．

◆このプロジェクトに地質調査所から参加した中島氏はコヒスタンの地質を紹介し，大陸の衝突について述べています．この中で，「大陸ここに衝突せり」の看板に「ここではない．もっと北」と偉い博士が手書きで書き込んであるとのことです．

◆セノテチス海の生成と消滅，ペルム紀とトリアス紀の境界問題は科学技術特別研究員の中氏によるものです．彼が研究を続けられる職を得られると良いのですが．

◆石原氏は花崗岩の帯磁率の話を紹介していますが，同氏によれば，今回の記事が最初に出るはずだったので，帯磁率の基本をやさしく解説しているとのことです．

◆金鉱床の探査は鈴木氏，クロム，白金については中川氏が紹介しています．ご参考になればと思います．

（有田正史）

［訂正］

・1998年4月号 no.524，p.10「北アルプスの白い滝ー硫黄沢の滝状石灰華ー」右段2～3行目

（誤）「1983年から1987年にかけて行った（高橋ほか，1984；高橋ほか，1985）」

↓

（正）「1993年から1997年にかけて行った（高橋ほか，1994；高橋ほか，1995）」

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史
副委員長：石井武政
委　員：佐藤興平・今井　登・村上文敏・大熊茂雄
顧　問：林　暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋　博
事務局：総務部業務課広報係（谷田部信郎・吉田朋弘）
〒305-8567 つくば市東1－1－3　地質調査所
地質ニュース編集委員会
事務局　Tel. 0298－54－3520
Fax. 0298－54－3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース　第525号　1998年　5月号
定価￥785（本体価格￥748）　〒実費
1998年5月1日　発行
編　集　工業技術院地質調査所
発行人　株式会社　実業公報社
代表者　林　光生
発行所　株式会社　実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8　〒102-0073
Tel.（03）3265－0951（代表）
振替口座　00110－6－32466
麹町局私書箱第21号
印　刷　株式会社　ケイ・トゥー・ワン

© 1997 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター，八重洲ブックセンター本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります．また，最寄りの書店でも注文できます．